

児童にブロッコリーの定植を指導する職員
(神奈川県相模原市で)



ブロッコリー 児童と定植作業

神奈川県
JA相模原市

【神奈川県・相模原】
JA相模原市は9月下旬

旬、相模原市立田名北小学校の敷地内にある畑で、ブロッコリー苗120本を定植した。同JA営農経済部指導販売課職員2人が、5年1組の児童30人を指導した。

同JAは地域貢献活動の一環で、児童を対象に食農教育を行っている。農業に触れる機会を設け、農業の楽しさと大変さを知ってもらう。

この日は、職員がマルチの必要性を説明。畑の温度や湿度の管理、害虫防止につながることを分かりやすく伝え、児童と楽しく会

話しながら作業を進めた。

できたブロッコリーは、12月19日の地場野菜を使った学校給食や家庭科の授業で料理したり、子ども食堂などに寄付したりする予定だ。

児童は「毎日、みんなできっかりと観察をして大切に育てたい。給食で食べるのが楽しみ」と笑顔で話した。

JA指導販売課の川村百合子さん(26)は「子どもたちに農業に興味を持ってもらい、農業の大変さと野菜が育つ過程を学んでほしい」と話した。